

令和7年度ヨーロッパザラボヤ等付着情報（第8報）

令和8年3月6日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

・ヨーロッパザラボヤ、ユウレイボヤの付着は、ありませんでした。

<調査方法>

- 1 調査日：令和8年2月24日（前回調査：1月27日）
付着器投入期間：1月27日～2月24日（前回調査：12月22日～1月27日）
プランクトンネット曳網日：2月24日（前回調査：1月27日）
- 2 調査場所
山田湾 大島南端から西微南方向480m付近にある一区第136号に設置した標識灯付近
- 3 調査方法
 - ザラボヤ等付着状況調査
ホタテガイ貝殻を使用した付着器を水深5m、10m、15mに3枚ずつ取り付けしたロープを垂下し、1ヶ月ごとのヨーロッパザラボヤ（1mm以上）、ユウレイボヤ（1mm以上）の付着数を計数。付着器9枚（3水深×3枚）に付着した数を平均したものを平均付着数とした。
 - フジツボ類発生状況等調査
 - ・ザラボヤ等付着状況調査時にフジツボ類の付着数を計数。
 - ・北原式プランクトンネットを鉛直に20m曳網し、採集物の中からフジツボ類の幼生を計数。

<調査結果>

- ザラボヤ等付着状況調査
2月24日の水深5m、10m、15m層の水温は、5m及び10mが7.9℃、15mが7.8℃（別紙図1）、透明度は7m（前回15m）でした。
ヨーロッパザラボヤの付着器への付着はありませんでした（別紙表1及び図2）。
ユウレイボヤの付着器への付着はありませんでした（別紙表2及び図2）。
- フジツボ類発生状況等調査
フジツボ類の付着器への付着は、前回と同様にありませんでした（別紙図3）。
フジツボ類幼生の採集はなく、前回調査（2.5個体/m³）より減少しました（別紙図3）。

お問合せ先
担当 増養殖部 田中
電話 0193-26-7917

別紙

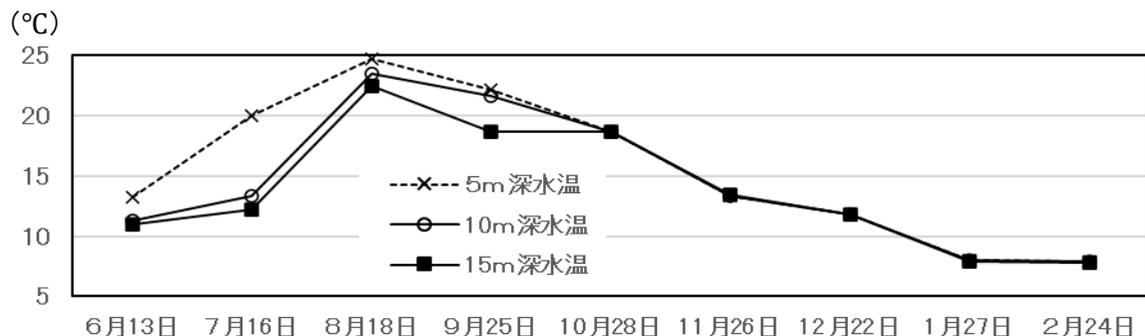


図1 5、10、15mの水温

表1 ヨーロッパザラボヤの平均付着数(個体/枚)

水深	令和7年						令和8年	
	7月16日	8月18日	9月25日	10月28日	11月26日	12月22日	1月27日	2月24日
5m	11.3	0.3	2.0	10.7	29.0	2.7	0.7	0.0
10m	4.7	0.0	1.0	9.3	12.3	2.3	3.0	0.0
15m	38.3	8.3	0.0	0.3	1.0	3.3	3.7	0.0
平均	18.1	2.9	1.0	6.8	14.1	2.8	2.4	0.0

表2 ユウレイボヤの平均付着数(個体/枚)

水深	令和7年						令和8年	
	7月16日	8月18日	9月25日	10月28日	11月26日	12月22日	1月27日	2月24日
5m	0.0	0.0	11.7	22.0	30.0	21.0	1.7	0.0
10m	0.0	0.0	24.0	73.3	9.0	34.3	6.0	0.0
15m	3.7	2.7	26.3	6.3	1.0	34.0	3.3	0.0
平均	1.2	0.9	20.7	33.9	13.3	29.8	3.7	0.0

(個体/枚)

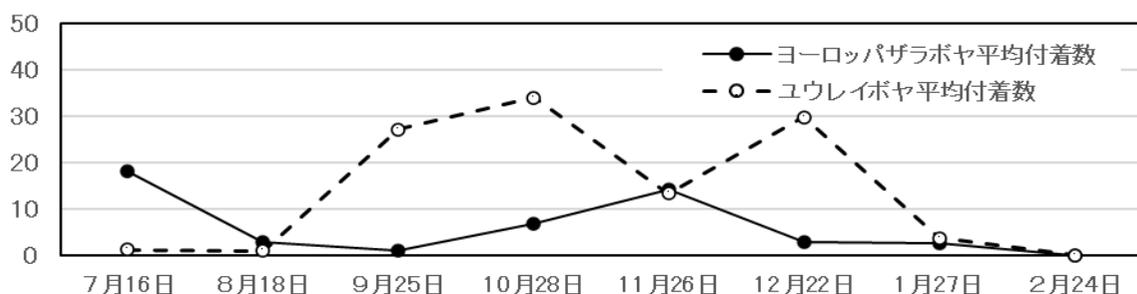


図2 ヨーロッパザラボヤ及びユウレイボヤの平均付着数

(個体/枚)

(幼生個体/m³)

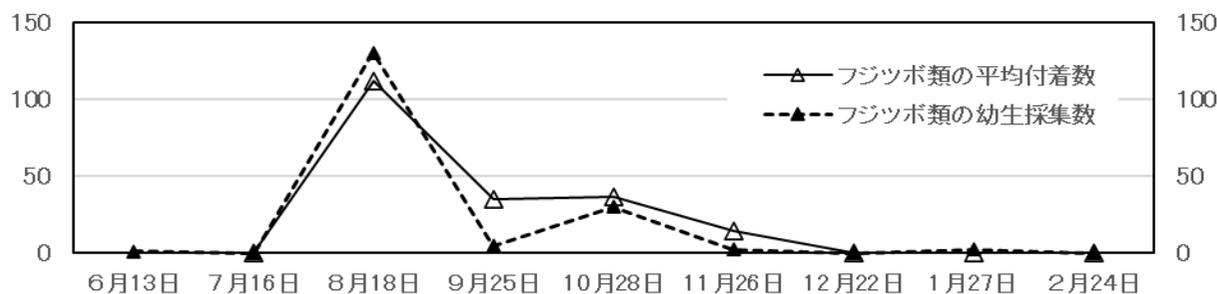


図3 フジツボ類の幼生採集数及び平均付着数